

印西地区ごみ処理基本計画 ごみ減量施策提案

委員名 津島孝彦

1、雑紙を入れる紙袋の配布。

燃やすごみの12%は雑紙。これを資源物として収集するために紙袋を配布する。(要費用検討)

2. 有料ごみ袋について。

- 袋に容量(L単位)を表示し1袋あたりのごみ処理コストが判るようにする。
- 袋の販売価格は店によりまちまち。(例 80×45×20 c m、45ℓ 20枚入)
A店 青袋：248円 黄：198円 B店 青：260円, 黄：280円
三鷹では市の資料で末端統一価格を公表(40ℓ 10枚入り 750円)。
当地区でも末端価格の公表や販売価格設定等の検証が必要ではないか。

3. 新聞・雑紙など重い資源物は各戸収集へ

- ①市や学校では、ごみ集積場所で1～2回/週、②自治会では各戸ごと1回/月、③一般業者は各戸ごと1回/月収集(粗品配布)している。新聞や雑紙などの重い物を集積場所まで運ぶのは高齢者にとり負担が大きく②及び③での処理が増えている。今後①を増すには各戸ごとの収集が必要。

4、より効果的なPRツールの検討。

- ①常時目に止まるように工夫した壁掛けタイプの作成。(例カレンダー方式)
- ②ごみ減量の必要性を訴えるキーワードの選択
(例) ごみ処理コスト・・・円/人当たり 円/ごみ袋
温暖化ガス排出量・・・kg/日(施設当たり) 車換算台数/日
g/人・日

5、プラスチック処理の現状分析とサーマル資源としての利用を検討

- ①収集～最終処理までのトータルコストの分析
- ②処理形態(リサイクル率、焼却率等)の把握
- ③先進事例の聴取(アンケート調査)
- ④経済性比較などを行う。

以 上